

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 角田 美 枝 子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

【はじめに】

この度、多田丈夫先生の後任として会長の重任を仰せつかりました角田美枝子でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。多田丈夫先生が八年間にわたり会長としてご尽力された方針を受け継いで、東京都退職校長会の発展のために全力を尽くしてまいります。

【創立七十周年記念式典】

創立七十周年記念式典が、東京都教育委員会教育長の浜佳葉子様をはじめ、ご来賓二十五名のご臨席を賜



東京都退職校長会の発展のために

東京都退職校長会会長 角田 美 枝 子

全力を尽くします

り、百九十九名の会員が参列して挙行されました。

多田丈夫式典委員長、桐谷澄男運営推進本部長、宇津木順一式典実行委員長を核に、周年委員、協力委員等総勢七十一名が英知を結集し、労を厭わず、心を一つにして創り上げた記念式典であったと思います。

私は、この組織の創造力・行動力に敬意と感謝を学びました。これをバネに新しい十年への第一歩を踏み出したいと思えます。

【運営の基盤は「親睦」】

昭和二十八年に「親睦と互助」を

目的の一つとして設立された東京都退職校長会は、「親睦」を基盤とした活動が脈々と受け継がれ展開されてきました。

今後、親睦を基盤に、会員相互の絆が築かれるような、充実した活動を推進していきたいと思えます。そして、本部と支部とが手を携えて温もりのある運営を心掛けたいと思えます。

【財政安定化のために】

本会は、平成三年度から平成十一年度まで六千有余名の会員を有して

東京都退職校長会の発展のために

東京都退職校長会会長 角田 美 枝 子

全力を尽くします

いました。しかし、現在は二千二百数十名に減少しております。この推移をみると、財政基盤の安定化の問題に直面していることは明々白々です。

本会の七十年にわたる活動の歩みを止めることなく、発展させていくために、財政の安定化の課題に真剣に取り組みたいと思えます。

【会員増強を目指して】

会員増強は、本会の存続・発展のための必須条件といえます。今年度も継続して会員増強プロジェクト・チームの活動を推進してまいります。

また、会報誌とホームページの充実を図るとともに、支部及び会員の地域教育に寄与する活動の紹介に取り組み等、退職校長会の情報を積極的に発信して存在感を示し、入会への足掛かりになるようにしたいと思えます。

支部長及び会員の皆様には、会員増強に向けての変わらぬお力添えをお願いいたします。

【終わりに】

七十年の歴史の重みを受け止め、役員・委員の方々が熱き情熱を注いで築き、運営してこられた東京都退職校長会を、しっかりと受け継ぎ、発展させていきたいと思えます。どうぞ、これまで同様、ご支援とご協力、ご指導の程を心からお願い申し上げます。

主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 創立 70 周年式典、式辞
- P3 ご祝辞
- P4 記念講演・第 70 回定期総会・第一回会員研修会
- P5 本部役員・事務局長、支部長一覧
- P6 支部だより、新入会員の声
- P7 春の叙勲・高齢者叙勲受章会員
- P8 物故者、応募コーナー、編集後記

東京都退職校長会創立七十周年記念式典

テーマ 組織の意志を未来に繋げ皆で祝う70周年
スローガン 心を一つに繋ごう未来へ

式典実行委員長 宇津木順一

さわやかな五月晴れに恵まれた令和五年五月十六日、調布市文化会館たづくり「くすのきホール」において、「東京都退職校長会創立七十周年記念式典」が、二十五名のご来賓のご臨席のもと、全支部、地方から会員百九十九名が集い、さわやかに、そして厳粛に挙行された。式典に先立って追悼の儀が行

われた。舞台上に設けられた「追悼の碑」の前に、この十年間に逝去された会員千二百七十一名のお名前を奉奠、献花の後、会長が追悼の言葉を捧げて参会者全員で黙祷し、教育者として、また本会会員としてのご尽力ご貢献に、敬意と感謝を込めて哀悼の意を捧げ故人を追悼した。十五分の休憩の間に式典の舞台が整えられ、舞台上を横断する会員の揮毫による『祝東京都退職校長会創立七十周年記念式典』の表示とともに正面に国旗と会旗が、左右には本式典のテーマとスローガンが掲げられた。

舞台上手にはご来賓が、下手に主催者が着席し式典が進めら

れた。国歌斉唱、会長の式辞、東京都教育委員会教育長 浜佳葉子様をはじめ四名の皆様からのご祝辞とご来賓の紹介の後、本会のために特にご尽力貢献された六十名の会員、二つの団体に会長から感謝状が贈呈された。代表して中野支部の緒方良子先生が多田会長から感謝状を受け取られ、代表してのご挨拶があった。

そして、今回の式典次第に新たに加えた「東京都退職校長会十年の歩み」が、荒川支部長桜庭清徳先生から発表された。十年前、本会創立六十周年記念で制定された綱領を基盤にしてのこの十年間の本会の活動、躍進について、パワーポイントを用いた簡潔、的確な発表があり、参会者一同共感しながら視聴し、本式典のスローガン「心を一つに繋ごう未来へ」の思いを共有した。最後に、綱領を参会者全員で唱和し、作曲者宮下洋先生の指揮のもと、会歌を声高らかに斉唱し、会場いっぱい力強い声を響かせて閉式となった。

式辞(要旨)

東京都退職校長会

会長 多田丈夫

風薫る五月、本日ここに、創立七十周年記念式典を皆様と共に、祝うことができ、この上ない喜びであります。また、公務ご多忙のところ、東京都教育委員会教育長 浜佳葉子様、並びに調布市長 長友貴樹様をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、錦上花を添えていただき、心から感謝申し上げます。

この十年を振り返りますと、第四十七回関東ブロック退職校長会「東京大会」の開催、教育庁幹部との懇談会、五団体との教育懇談会、本会主催の「教育フォーラム」等々の実績を積んでまいりました。特に、平成三十年に会則を全面改正し、現職の校長先生方に退職後、速やかに会員になつていただく道を開きました。今後とも現職の校長先生方との連携を一層強めてまいります。

さて、式典は、二年前から準備し、式典実行委員会、記念誌作成委員会、記念特別事業委員会が一丸となって今日

を迎えました。特に、この記念式典を好機に協賛金計画を立ち上げました。

お陰様で大きな善意が実りました。ご寄付をいただいた関係団体並びに会員の皆様に心から御礼申し上げます。

今後とも東京都教育委員会並びに関係団体との連携を密にし、本会の目的である国際都市東京の教育の振興に一層寄与していく決意です。

結びに、本日の式典を契機に、創設時の心を忘れず、存在感ある東京都退職校長会として、さらなる飛躍を誓い、ご参会の皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、式辞いたします。

尚、詳細は、HPをご覧ください。



祝 辞

◇東京都教育委員会

教育長 浜 佳葉子

東京都退職校長会の益々の御発展を祈念して

東京都退職校長会七十周年、誠におめでとうございます。会員の皆様におかれましては、東京都の教育の充実・発展のため御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、デジタル化の進展のほか、感染症の拡大や物価高騰等、子供の育つ環境には大きな変化が生じています。社会の変化に柔軟に対応し、子供の学びを支えるため、東京都教育委員会で、「自ら未来を切り拓く力の育成」、「子供目線に立った支援の充実」、「教員の働き方改革等による指導充実」という三つの柱を軸として取組の充実を図っています。

今後とも、これからの東京を担う人材の育成に御協力を賜りますようお願い申し上げます。本会の益々の御発展を祈念し、お祝いの言葉いたします。



◇調布市

市長 長友 貴樹

東京都退職校長会が七十周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

また、記念すべき式典を調布市で開催いただきましたこと、大変光栄に感じております。

東京都退職校長会におかれましては、後進の御指導・育成をはじめ、様々な教育活動への御支援を通じ、私ども、調布市の教育行政の進展・充実にも大きく御貢献いただきましたことに敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

本市では、令和五年三月に第三期調布市教育大綱を策定し、「持続可能な社会の実現と共生社会の充実」など、調布市教育委員会と共に取組む連携テーマを掲げ、取組を進めております。引き続き、貴会会員の皆様方からの御支援・御協力を仰ぐ場面もあらうかと存じますが、変わらぬ御支援・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。結びになりますが、貴会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念いたします。お祝いの言葉とさせていただきます。

◇全国連合退職校長会

会長 田中 昭光

継続は力なり

創立七十周年、心よりお祝い申し上げます。昭和二十七年の平和条約発効以後、我が国の学校教育は平和国家の充実・発展を目標に活動が進められてきました。その後、民主教育の在り方で多様な問題が生じ、社会から正常化が求められ混乱しました。そんな折、退職された校長先生が中心となり、教育の正常化を求め、都退職校長会を制定し、今日に至るまで教育の振興、支援活動に貢献されて来ました。また、十年あとに全国連合退職校長会が誕生し、会員相互の親睦を深めるとともに、現職校長と連携し、今日まで教育尊重を高め教育振興に寄与してきました。全連退としては、今後も貴会と連携・協力し活動していきたいので、宜しくお願いいたします。

◇東京都中学校長会

会長 山本 周一

東京都退職校長会創立七十周年、誠におめでとうございます。そしてこれまで各学校の学校教育また学校経営に、広くご支援を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の扱いも変わり、学校では教育活動が活発になってきています。一方で、学習指導要領の趣旨を反映した学びへの不断の改善、AI時代に向けた教育環境の整備、児童・生徒の不登校等の増加などの課題もあり、その対応も進めているところです。

定年退職年齢は将来的には六十五歳という考え方になり、管理職にあつては、役職定年六十歳となりました。

本会が、会員相互の親睦と交流、そしてセカンドライフの充実と活性化にご尽力されていることに、心より尊敬の念を抱くものであります。

そして今後も本会のご発展と会員の皆様方のますますのご活躍、ご健勝を祈念しております。



記念講演

□記念講演

講演

一中節

宗家十二世 都一中氏

一中節

都派家元 都了中氏

演題

「一中節 伝統が創る未来 演

奏とお話」

浄瑠璃…都了中氏

三味線…都一中氏

【一中節について】

一中節は江戸時代浄瑠璃三味線音楽の源流。初生都太夫一中は慶安三年（一六五〇年）に京都明福寺住職の次男として生まれ、当時京都で盛んだった様々な三味線音楽を次第に統一し、後に江戸にも進出して一中節を確立した。江戸時代には「一中節の稽古本のない家はない。」と言われるほど、一中節は一世を風靡し、江戸の町人たちに愛好され楽しまれた。

三〇〇年以上たった現在でも初生の音楽性と精神は忠実に伝承されている。さらに初生の音楽は弟子たちに受け継がれ、その後、常磐津、清元、新内、富本等へと発展し様々な流派の源流となつて、三味線音楽全体に多大な影響を与えた。一中節は日本の音楽史上重要な役割を果たし、芸術的にも非常に価値の高いものとされている。

参加者は、日本の伝統文化に聞き入り、堪能していた。

（式典協力委員 川和誠一）

令和五年度第七十回定期総会・会員研修会

令和五年六月二十七日 主婦会館プラザエフ

若き血潮は昨日の如く

―久し振りの総会と懇親会―

総務部担当副会長 桐谷澄男

こんなに若やいだ会員諸氏の姿を見ることは実に久し振りのことだ。どこでもかしこでも『やあ やあ』の乱れ咲きた。

懇親会は、こんなにも人を燃えさせるのか。そういえば、懇親会は久し振りの実施ではなかったか。支部内だけでも付き合いはぐんと減っていたというのに、ましてや、この大勢の人波には圧倒されるばかりではないか。こちらに旧友がいる、あちらには先輩がおられる。その奥に、昔口論を交わした親友もウインクで応えている。

今日は支部を離れた交流に花が咲く。共に安堵を称えつつも、寂しいお便りも聴き、一瞬のため息がよぎる。喜怒哀楽の人生の中にふと来し方がよぎる。ここにはみんなの中に自分を置く幸せがある。これが求めていた一つの形なのであろう。やってよかった。実施してよかった。総会も新役員を選出、新たな船出を約束した。若返りが眩しい。

令和五年度

『第一回会員研修会』実施報告

生涯学習部担当副会長 齊藤徳藏

角田美枝子新会長の挨拶、講師紹介の後、木野村雅子先生（調布支部・文教大学講師）はプロジェクターで内容を映しながら、話し、歌い、演奏、そして指導してくださいました。一部を紹介します。

- リズムに乗って自己紹介
- ・身体全体でリズムを感じよう
- ・音符と休符について
- あつという間に楽しく、リズムよく、自己紹介が出来ました。
- 音楽活動を通しての交流例
- ・釜石小学校訪問コンサート
- プロジェクト、画面いっぱい映しながら説明されました。逞しく生きる子供たちの様子にも感銘をうけました。

○「故郷」の二部合唱に挑戦
最後に、全員で「故郷」を合唱しました。
大変充実した研修会でしたが時間が足りず残念でした。

令和5年度 本部役員・事務局長

会長	角田美枝子 (品川)	会務の統括・代表	監事	澤海 富保 (北多摩西)
副会長	赤坂 寅夫 (千葉南)	総務部担当	〃	山内 俊久 (北)
〃	齊藤 徳藏 (千葉西)	生涯学習部担当	〃	伊藤 誠一 (足立)
〃	皆川 清 (町田)	会計部担当		
〃	増田 稔 (西多摩)	福利厚生部担当	事務局長	岩谷 榮子 (千代田・中央)
〃	福島 良樹 (八王子)	情報推進部担当		

令和5年度 支部長一覧

1 千代田・中央	鈴木 正孝	5 豊	島 野村 清	3 府	中 保坂 昌代
◎1 港	野々山 毅	5 北	加藤紀美子	3 調	布 榎本 勉
1 新	宿 佐藤 正吉	◎5 荒	川 桜庭 清徳	3 狛	江 吉田 和夫
1 文	京 小林 博	5 板	橋 橋本由美子	5 北多摩西	部 萩原 敏文
1 台	東 村山 忠幸	5 練	馬 添田 禮子	◎4 西多	部 摩 村野 久子
1 墨	田 加藤明紀夫	◎2 足	立 伊藤 誠一	1 大	宅 島 村田 公充
1 江	東 加村 隆治	2 葛	飾 沼田 八郎	1 三	千 葉 南 部 宮内 太一
3 品	川 名倉 俊一	2 江 戸	川 菊地 正直	2 千 葉 中 部 菅原 賢男	
3 目	黒 松本 保枝	4 八 王	子 辻野 宗行	2 千 葉 西 部 齋藤 二郎	
◎3 大	田 直井 一郎	4 町	田 新保富二夫	2 千 葉 北 部 西嶋 新吉	
3 世 田	谷 鈴木 眞子	4 日	南 岸田 博三	2 千 葉 玉 川 森山 裕夫	
1 洪	谷 大沼 弘	3 武蔵野・三鷹	本 郷 浩之	5 埼 奈 川 宮川	
4 中	野 田中 弘志	5 北多摩北	中 山 悦男	4 神	
4 杉	並 井口 茂	4 北多摩中	鹿 田 克己		

1~5 ブロック番号 ◎ブロック長



ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応

0120-849-544

フリーダイヤル

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

ホームページ 

本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 Tel03-3396-7231

支部だより

活動の充実が基本

千葉北部支部長 西嶋 新吉

秋の一日、恒例の会員研修会、参加者十名で我孫子市の「鳥の博物館」を見学。学芸員の方の説明を聞き、東京都の鳥、千葉県の鳥、我孫子市の鳥などの剥製標本や骨格標本などを見て、楽しく学習した。

平凡な日常に、ちょっとした刺激を求めて、退職校長会の事業がある。新たな人と人とのつながりを求めるのも楽しい。会の存続のために、工夫しながら努力を続けたいと思う。

入会者が少ないのは共通の悩みだと思う。入会勧誘の努力と活動の充実を図ることに重点を置き、本支部の役員一同努力している。

仲間が少しでも増えることを期待して、楽しく、ためになる活動を続けたいと思っている。

新入会員の声

アフターコロナと学校教育

杉並支部 田中 稔

令和二年三月末、杉並区立小中一貫教育校杉並和泉学園長として退職の時を迎え、昨年度、区立高円寺学園に異動し、引き続き学校運営にあたっております。そして、本年四月、お誘いいただき本会に入会いたしました。

私の勤務校は、開園四年目を迎える新設校となります。開園以来、新型コロナウイルス感染症の流行により、小・中学部の交流学习等を制限しなければなりませんでした。いよいよ、この感染症が「五類」指定となったことを受け、この間、規模縮小等してきた学習を進めていくことが可能となりました。今、正に新たな出発の時を迎えます。諸先輩方にご指導等いただいたことを生かして、あと少しこの道で頑張りたいと思います。



がんと向き合う人を支える基本のがん保険

<生きるためのがん保険Days1>入院給付金日額 5,000円		オリジナルプラン	保険期間	月払保険料例 個別取扱 左記プランの場合 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間：終身/定額タイプ 特定保険料払込免除特約なし
診断給付金	初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき	がん・上皮内新生物それぞれ1回限り	一時金として がん 上皮内新生物 50万円 5万円	
入院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする入院をしたとき	日数無制限	1日につき 5,000円	
通院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする次のいずれかの通院をしたとき ①特定の治療(*1)のための通院 ②初めて診断確定をされた日、所定の治療(*1)を受けた日、または退院日の翌日から365日以内の通院	①日数無制限 ②通院期間中(365日以内)日数無制限	1日につき 5,000円	一生 生涯 保障

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。
 (*1)所定の治療とは、手術・放射線治療(電磁波温熱療法を含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)をいいます。
 ・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
 ・個人情報の利用目的：アフラック等各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは弊社HPをご参照ください。

保険料は、2023年4月現在のものです。
 ※健康状態によっては、記載の保険料と異なる場合があります(保険料が割増となる場合があります)。お申込み後にアフラックから送付する書面をご確認ください。

資料請求・お問い合わせ・お申込みは
 (平日 9:00~20:00 土日祝 9:00~17:00)

0120-357-212

(募集代理店)アフラックは代理店制度を採用しております
 三井住友信託銀行グループ
三井住友トラスト・ライフパートナーズ
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

(引受保険会社)
 「生きる」を創る。 **アフラック**
 東京第一法人営業部
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19F
 Tel.03-6367-3666 Fax.03-3218-3887

AF003-2023-0274 5月2日 (240502)

令和5年 春の叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。(敬称略)

瑞宝双光章 12名

榎本 和男 (杉 並)	鈴木 常夫 (葛 飾)	富樫 英夫 (千葉中)
森下 淑子 (北)	馬場 武 (日 南)	高橋 哲夫 (埼玉県)
白石 求生 (練 馬)	大串 國廣 (西多摩)	濱名 啓三 (埼玉県)
深町 芳弘 (練 馬)	前田 榮吉 (西多摩)	今井 重夫 (神奈川県)

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。(敬称略)
(令和5年4月6日現在 本部に届けがあった方々)

瑞宝双光章 5名

嶋田 倫也 (世田谷)	馬場 勇 (西多摩)	鈴木 康央 (神奈川県)
細川 隆 (西多摩)	河村 保男 (神奈川県)	

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

突然起こる自然災害。
一人ひとりが日常的に防災を
意識することが大切です。

教職員共済のホームページでは、
防災情報や、学校での避難訓練に
役立つコラムを掲載しています。

ぜひご利用ください!



災害に備える

それでも防ぎきれない
想定外の自然災害や火災には、
教職員共済の火災共済と
自然災害共済で備えましょう。

あなたの大切な住まいと
家財をまもるために。

火災共済 住宅災害等給付金付火災共済 自然災害共済

まずはお気軽に資料請求を
家財契約のみでも
ご契約いただけます。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京都事業所

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5 階

TEL : 03-3230-0818

(令和5年4月10日 届出現在)

物故者



謹んでご逝去を悼み

ご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
梅田 庸夫	4.12.28	世田谷小	88	12	
高柳 竹人	4.12.25	大田中	92	9	
櫻庭 朔	4.12.15	府中	92	46	
白石 友三	4.11.6	神奈川県	92	70	
飯島 究	4.11.4	埼玉県	88	64	
門川 公雄	4.9.16	地方	91	73	
網野 榮一	4.9.12	埼玉県	96	64	
設楽 善彦	4.9.6	神奈川県	86	70	
廣瀬 昭江	3.11.14	地方	93	73	
和知 光儀	5.1.1	府中	92	46	
松田 孝史	5.1.4	千葉県	89	60	
丸木 一麿	5.1.8	渋谷	90	14	
井上 典民	5.1.16	神奈川県	94	72	
末松 茂孝	5.1.20	日南	83	39	
山之内 登	5.1.27	足立	96	24	
石上甲子郎	5.1.29	千葉県	98	43	
山崎 隆男	5.2.12	神奈川県	89	72	
中村 俊暢	5.2.14	神奈川県	97	68	
中原 慎三	5.2.15	練馬	93	22	
清水 良雄	5.2.20	神奈川県	93	69	
辻 高毅	5.4.1	狛江	97	48	

※頁は令和4年度発行の新名簿による

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

応募コーナー

短歌



グローバル化テレビ報道さまさまに
状況理解に地球儀を買う

二十三度雲一つなき冬日和
ふとん干さるる日本の景色

亡兄の教科書に見し、本科の文字
古びた家の書架の片隅に

墨田支部 河原敏子

吾が人生昭和・平成・令和と歩む
師友ありてこそ今の吾れ在り

土筆^{つくし}んぼ蓬摘みにし江戸川堤
草餅に残る母の温もり

先代の生きる知恵を心に刻み
吾が人生に生かして歩む

千葉南部支部 大久保明夫

とりどりに子らのつくりし鯉のぼり
校庭に張られしロープに泳ぐ

接種待つ女兒の目尻より涙こぼれて
声も出でず小さく震える

吹き過ぎる風になびいてどつと散る
女兒手を広げ桜花浴びる

中野支部 田中弘志

編集後記

盛りだくさんの今号です。

創立七十周年記念式典、追悼の儀、記念講演が盛大に実施できたのはご存知の通りです。会員の皆様の献身的な貢献の賜物です。お疲れ様でした。

令和五年度第七十回総会も無事終了できました。新体制が発足し、新たな一歩が踏み出せたこと、嬉しい限りです。その後の会員研修会、懇親会も行うことができました。三点セットでの実施は、令和元年度の六十六回以来です。因みにその後の二回は集まったの総会は中止、昨年度の六十九回は多摩図書館で総会と研修会を行いました。

大きな行事が二つ実施され、その記録ともなる今号です。会報八ページはそのままでした。執筆者の皆様には思いの丈を記す十分なスペースを用意することができませんでしたが、貴重な原稿を提供、しかも短時間に下さった皆様に御礼申し上げます。(榎本 勉)